

# 出会い in 杉村病院

第7号

父の時代から「院訓」というものがありました。理事長室、会議室などに

杉村病院は、今年創立五十周年を迎えます。この時期にもう一度病院のあるべき姿を再確認しようとして「基本理念」「基本方針」を見直しました。



医療法人 杉村会 理事長 杉村 邦明

## 理念と基本方針

### を見直しました



発行：医療法人杉村会  
杉村病院  
発行人：院長補佐 中本博子  
〒860-0811  
熊本市本荘3丁目7-18  
Tel：096-372-3322  
Fax：096-371-0886  
ホームページ：http://www.sugimurakai.jp/index.html

### 基本理念

地域の人々の健康を守り  
地域の人々から愛され  
社会に貢献できる病院を  
目指します

### 基本方針

1. 信頼される医療人となる為 常に研鑽を積むことを惜しみません
2. 心のこもった適正な医療サービスを提供します
3. 十分な説明をし 同意を得るための努力を惜しまず患者さまが医療に主体的に参加できるような体制作りに励みます
4. 患者さまのプライバシーを守り 個人の尊厳が保たれるように努力します
5. 患者さまを看させて戴く事に感謝の心を忘れません

額に入れて掲げてあり、毎朝、皆で唱和しておりました。

今回、新しく理念・方針を明文化するにあたり、それをひも解いてみました。基本的には共通する点が多く、時代は変わっても地域に根差し、地域に貢献する病院になりたいという創立者の気持ち、脈々と引き継がれていることを確信いたしました。

基本方針の『5』にあります「患者さまを看させて戴く事に感謝の心を忘れません」という一文は、アルフォンス・デーケン（元上智大学教授）の言葉で、私の心に強く響いたものです。

デーケン先生は若い頃、病気で苦しむ患者様方と多くの時間を過ごされ、怒り、孤独、抑うつ、新しい希望に向けて立ち

直っていく、その過程と時間を分かち合うことで、先生は、人間として大切なことを学んだ、と語っておられます。

病のある方々、患者様を看せていただくことは、医療人にとって大切なことを学ぶ場であり、また。その場を与えてくださった患者様に感謝の気持ちを忘れません、という心構えでこれからも医療に携わっていきたく思います。

逆風の吹く医療界ですが、理念と基本方針を胸に、少しでも良い医療をという思いで進んで参ります。

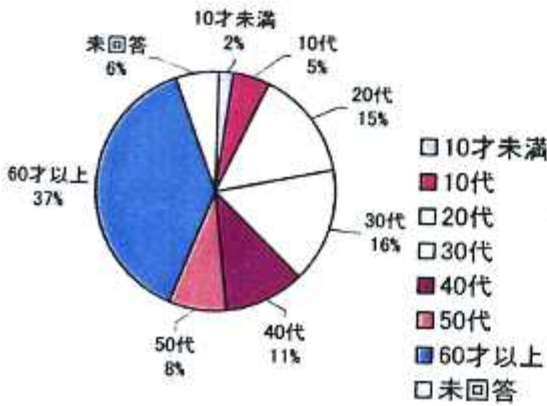




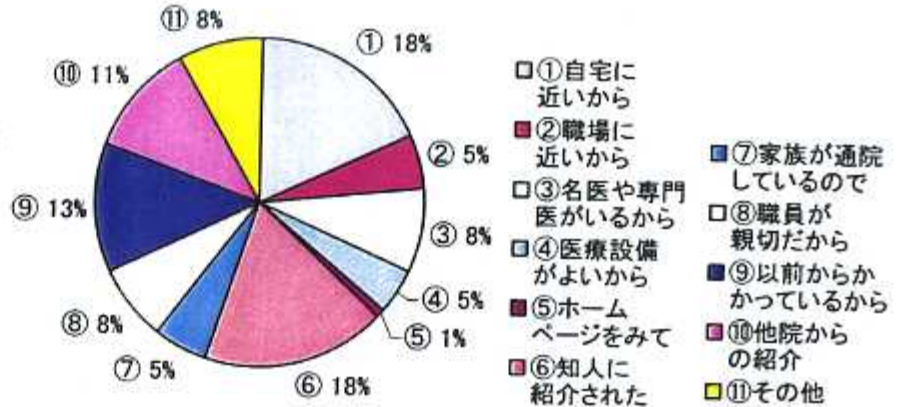
# アンケート調査結果発表

6月11日から16日までの間に行いました外来患者様へのアンケート調査の結果が出ました。この結果を踏まえ、より良い病院作りの為に努力していききたいと思います。

## 1 年齢



## 2 当院を選ばれた理由



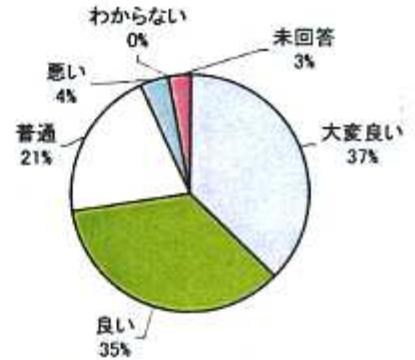
## 3-1 医師の診療内容について



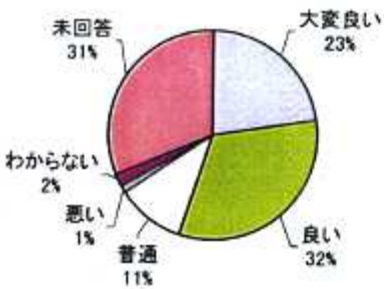
## 3-2 医師は病状や病名をきちんと説明し、わかりやすかったですか



## 3-3 医師はあなたの意見を十分に聞き、質問に十分答えましたか



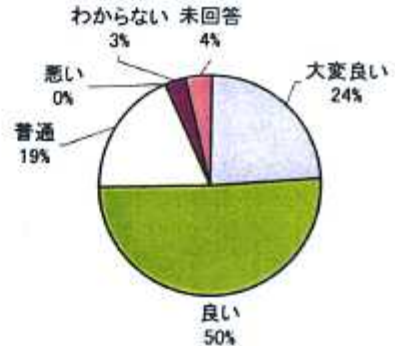
## 3-4 医師の注射や処置はいかがでしたか



## 3-5 看護師の注射や処置はいかがでしたか



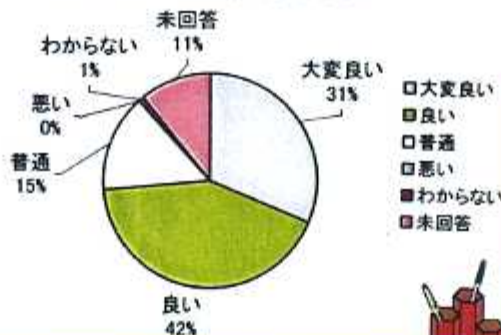
## 3-6 看護師は質問に対して、わかりやすい説明をしてくれましたか



## 3-7 受付の対応や説明はいかがでしたか



## 3-8 薬剤師は薬の内容について、わかりやすく説明しましたか



【性別】 男性…39%  
女性…59%  
未回答…2%

アンケート調査への御協力ありがとうございました。入院患者様へのアンケート調査につきましては、現在集計中です。結果が出るまで今しばらくお待ち下さい。



**元気クラブ**  
**食でイキイキ杉村会 開催**

よろしくお願ひします!

**新入職員紹介**

平成十九年四月十日に入られた方の紹介です

岡本 麻希さん

准看護師 5病棟勤務



お世話になってから四ヶ月がたち少しづつ職場にも慣れてきています。これからもしっかり頑張りますので、よろしくお願ひします。

**スタッフ紹介**

(今、一番してみたい事!)

安藤 真理(師長・看護師)

加圧トレーニングをやって若返りホルモンを出したい!

古井 恭子(主任・看護師)

運動不足なので何かスポーツを。できればヨガをやってみたいです。



**東病棟です!**



高田 道子(看護師)

夫婦でのんびり温泉旅行。

高橋 理香(看護師)

F1観戦に行きたい。

松下 かずみ(准看護師)

娘と二人で海外旅行に行きたい。

中村 光代(准看護師)

パレーボール世界大会の応援に行きたい!

栗山 修治(准看護師)

静かな所に引っ越したい!

本島 広美(准看護師)

沖縄に行つて小麦色の肌!

財部 龍典(准看護師)

普通二輪免許と大型免許を取る!



入江 一美(介護士)

習い事を始めてみたい。(何をするかはまだ決まらない)

益崎 由子(介護士)

ダイエットして内臓脂肪を取りたい。

木下 尚子(介護士)

全国ローカル線列車きまま旅をしてみたい。

小野松 直子(介護士)

元気でいられたら八十八か所巡りをしてみたい。

松村 ユミ子(介護士)

のんびり旅行がしたい。六十の手習いで書道をやってみたい。

大草 春生(介護士)

レクサスLS600hLに乗ってみたい。

酒井 翔(介護士)

京都にのんびり旅行に行ってみたい。

佐々木 奈美(介護士)

のんびり温泉旅行。







# 名医紹介

第六回



熊本大学大学院医学薬学研究所 代謝内科学教授 荒木 栄一 先生

研究に打ち込まれるお忙しい時間を割いて、診療指導医として杉村病院に協力いただいております荒木栄一先生に、今回はメタボリックシンドロームについてお話を伺いました。

Q まず、メタボリックシンドロームという言葉の薬の意味について教えていただけますか？

A いくつかの軽い代謝異常が起こって、動脈硬化を起こしやすい状態を、メタボリックシンドロームと呼ぶようになりました。

男性の場合はウエストサイズ八五センチ以上、女性の場合は九〇センチ以上で、血糖値が高め、血圧が高め、中性脂肪が高めか善玉コレステロールが低め、この三項目のうち二項目以上が当てはまれば、メタボリックシンドロームということになります。

ウエストサイズは男性の方が内臓脂肪が貯まり易いので、男性に厳しくなっています。

Q ウエストサイズがオーバーしていても検査でも異常がなければ大丈夫ということでしょうか？

A ウエストが太いということは内臓脂肪が多いと思いますので、メタボリックシンドロームの前状態と考えて、やはり生活習慣を変えていった方がいいと思いますよ。

Q ということは、なにも異常がなくてもウエストサイズオーバーはやっぱり問題ですか？

A ただ、メタボリックシンドロームは病名ではありません。診断されても落ち込むのではなく、早く分って良かったという気持ちで取り組んでいただきたいですね。

Q さて取り組み方ですが、やはり食事と運動でしょうか？



A その通りです。ウエストを一センチ小さくするためには体重を一kg減らします。何センチオーバーしているか計算して、何か減量すればいいか目標を立てます。体重を一キロ減らすために、月七千カロリー減らさなければなりません。一日当たり二三〇カロリーです。運動だけで消費しようとする、軽い散歩だと二時間以上歩かなくてはなりません。運動で三分の一、残りは食事などで、組み合わせれば減らすのがいいと思いますよ。食事は油を控えればかなりカロリーを落とせます。

A ちょうど栄養部で八月にメタボリックシンドロームにならないための食事の講習会をやります。心当たりのある方は、それも是非参考にして頂きたいですね。

Q ところで先生のストレス解消法は？

A 昨年の二月から、昔やってたテニスを再開しました。週一回テニス教室に通っています。九十分なものかも忘れて集中できます。

これまでは病気になったら治療するというのが普通でしたが、これからは予防医学。病気になる前に、医療機関も一緒にやって、そうならないよう頑張る！その最前線に立たれる荒木先生も、ちゃんとセルフメンテナンスには気をつけていらつしやるとお見受けしました。梅雨空の下でのインテニューでしたが、先生の笑顔はさわやかでした。

## 夏バテ防止にこの一品！

### ★豚とゴーヤの辛みそ炒め★



材料 (1人分)

・豚もも肉	100g
・塩	少々
・ゴーヤ	50g
・玉葱	50g
・きくらげ	2枚
・赤ピーマン	20g
・赤みそ	8g
・砂糖	4g
・酒	8g
・醤油	3g
・豆板醤	適量
・油	5g

蒸し暑い季節がやってきました。この季節は、疲れやすく、食欲も減退しやすくなります。また、水分が不足しがちで、暑さによるストレスを感じやすい真夏は、特に血液もドロドロになってしまいます。

豚肉には、疲労回復ビタミンといわれるビタミンB1が豊富に含まれています。また、ゴーヤ・赤ピーマンには、ビタミンC、βカロテンといった血液サラサラ成分が。更に、豆板醤などの辛味成分には、血行を良くする働きがあり、食欲を増進し、消化を助けます。是非一度お試しください。

#### (作り方)

- ①きくらげは石づきを除いて食べやすく切る。
  - ②ゴーヤは縦半分に分けて種を除き、1cm厚さに切る。
  - ③玉葱は楕円に、赤ピーマンは種を除いて1cm厚さに切る。
  - ④豚肉は塩をふっておく。
  - ⑤フライパンに油を熱し、豆板醤・豚肉を入れて炒め、色が変わり始めたら、玉葱、ゴーヤ、赤ピーマン、きくらげの順に加えて炒める。
- 全体に油がまわったら、混ぜ合わせたaを加えて、汁気を飛ばしながら炒める。

#### 編集後記

今年も暑い夏がやってきました。7月の大雨の被害に遭われた方にはお見舞い申し上げます。☆気象予報では今年の夏は猛暑一転冷夏といわれていますが、熊本の夏の蒸し暑さはひとしお！☆エアコンの調整、水分補給、スタミナ食などの工夫で元気に夏を乗り切りましょう☆体調維持のためにはバランスのいい食事と運動がとても大事なこと☆暫くサボっていた運動を早速始めることにしました。伊藤裕子